

福岡高等学校

2学年

<育てたい生徒像>	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうと努力する生徒。また、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を身につけた生徒。	<b>達成度</b>
<具体的到達目標>	1年次までに習得した英語の知識を生かしながら相手の伝えたいことを理解し、適切な表現を使いながら自分の意見を伝えることができる。■外部試験による到達目標目安：GTEC Grade4 Total Score 430	
4 技 能	<p><b>Listening</b></p> <p>◎物事に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。</p> <p>・自然なスピードで話される120～140語程度の英文を、数回聞けば、その使用状況や概要をおおむね理解できる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Listening -3-Grade 3)</p> <p>・教室内で用いられる英語は、自然なスピードで話されてもほぼ理解できる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Listening -3-Grade 3)</p>	
	<p><b>Reading</b></p> <p>◎説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方ができる。</p> <p>・トピックセンテンスを探し出すなど、パラグラフ毎に書かれている内容の概要や要点を短時間で理解することができる。(目安:90WPM)(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Reading -1-Grade 3)</p> <p>・物語やエッセイを読む時は、辞書を引かなくても、ある程度推測しながら全体を読み通してストーリーの概要や要点を理解することができる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Reading -5-Grade 4)</p> <p>・論理的な英文を読む時には、論理の流れを理解しながら、筆者の意図や主張を読み取ることができる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Reading -6-Grade 4)</p>	
	<p><b>Speaking</b></p> <p>◎聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり、意見の交換をしたりすることができる。</p> <p>・写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Speaking -3-Grade 4)</p> <p>・授業内でワークシートを使って準備をすれば、話し合いに参加でき、なんとか意見のやり取りをすることができる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Speaking -7-Grade 3)</p> <p>・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するための意見を述べるができる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Speaking -7-Grade 4)</p>	
基礎 技能	<p><b>Writing</b></p> <p>◎聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>・自分の意見や感想を論理的に整理し、段落構成を意識して書くことができる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Writing -3-Grade 4)</p> <p>・自分の興味のある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Writing -10-Grade 4)</p>	
	<p><b>語彙・発音</b></p> <p>◎2300語レベルの単語の意味や発音が概ねわかり、そのうちの60%程度は実際に使用することができる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Basic Skill-1-Grade 3)</p>	
	<p><b>音読</b></p> <p>◎英文の内容の理解が十分であり、内容が聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読ができる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Reading-7-Grade 4)</p>	
<p><b>文法</b></p> <p>◎既習の英文法の知識や、よく使われる表現を身につけ、それらを適切に使用して自己表現できる。(HUKUOKA CAN-DO GRADE: Basic Skill-3-Grade 4)</p>		

※ 達成度はA(おおむね80%以上)・B(おおむね60%以上)・C(おおむね40%以上)・D(おおむね40%未満)の4段階。個別と技能毎に年度末に記入  
HUKUOKA CAN-DO GRADEによるGrade記述は、2012年3月30日版による